

投資事業評価調書（新規）

部課室名	治山課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	治山課長 打浪 久淳 (前田 康宏)	内線	4128 (4136)
------	-----	---------------------	-----------------------	----	----------------

事業種目	治山事業	事業名	事業区間	総事業費	約2億円
		地域防災対策総合治山事業	養父町三谷		

所在地		着工予定年度	完成予定年度
養父郡養父町三谷		H14年度	H18年度

事業の目的	事業内容						
山地災害危険地区が多くあり、85戸の人家が集中する養父町三谷・船谷の両集落において、山地災害を未然に防止し、生活環境基盤の整備を図るため、土石流対策及び山腹崩壊対策を総合的、集中的に実施する。	<table border="0"> <tr> <td>治山ダム工</td> <td>13基</td> <td>2.3億円 (国50%、県50%)</td> </tr> <tr> <td>森林整備(本数調整伐等)</td> <td>20ha</td> <td>0.1億円 (国50%、県50%)</td> </tr> </table>	治山ダム工	13基	2.3億円 (国50%、県50%)	森林整備(本数調整伐等)	20ha	0.1億円 (国50%、県50%)
治山ダム工	13基	2.3億円 (国50%、県50%)					
森林整備(本数調整伐等)	20ha	0.1億円 (国50%、県50%)					

評価視点	評価結果の説明
------	---------

(1) 必要性	<p>当該事業に係る保全対象は三谷集落及び船谷集落の人家85戸及び小学校等の公共施設であり、また、近隣に山地災害危険地区が集中しているため、住民の安全、安心のための総合的な危険地対策が必要な箇所である。</p> <p>当該事業地の渓流は、過年度の災害により、縦横浸食が進みつつあり、不安定土砂礫が溪床に堆積しており、また、事業地内には防災機能の低位な森林があるため、放置すれば山腹崩壊や土石流の危険性がある。</p> <p>このため、防災施設の設置、森林の整備により災害の未然防止を図るとともに、森林の公益的機能を高度に発揮させるための事業実施が必要である。</p> <p>当該事業は、第九次治山事業七箇年計画に基づき、全体計画及び各年度の事業計画を定めて事業実施が計画的に行われるものであり、事業施工地の土地所有者の承諾はもちろんのこと地元養父町の協力も確実であり、地元区からの要望も強く事業実施の確実性は高い。</p>
---------	---

(2) 有効性 効率性	<p>当該事業地の投資効果は、2.13となっており、高い事業効果が期待できる。また、保安林内で行う事業であり、他事業による施行は困難である。</p>
----------------	--

(3) 環境適合性	<p>事業の実施に当たっては、間伐材を積極的に使うなど景観・環境の維持に重点をおいた工法を用いるとともに、防災施設施工地には広葉樹の植栽を計画しており、自然環境の保全とともに緑豊かな生活環境の整備に配慮した事業である。</p>
-----------	---

(4) 優先性	
---------	--

評価の結果	着手妥当	左の理由	上記内容により着手が妥当と認められた

